

「岩手ようごの会」 第5回実践交流会のご案内 & 第4回の報告



平成27年10月13日

岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

岩手県学校保健会養護教諭部会会員の皆様には、本会へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。本会では、養護教諭の日頃の実践を交流する実践交流会を開催しております。交流会は、毎回、テーマを設けて話題提供を行い、その後に参加者間で実践を紹介したりトーキングを行って相互の実践に触れる機会としています。今後も実践の「しゃべり場」として交流会を継続して参りたいと考えておりますので、ご参加をお待ち申し上げております。第5回目は、12月5日（土）に開催しますので、ご案内いたします。

.....第5回 実践交流会のご案内.....

テーマ 「学校保健委員会 立案や企画・運営、連携、事後措置、評価などをどう実践・工夫していますか？」

- * **日時**：平成27年12月5日（土）10:00~12:30
- * **場所**：アイーナ6F 団体活動室1
- * **場所の補足**：当日の会場は、北側のオープンスペース奥になります。入口から一括貸切りになっています。

学校保健委員会は、学校における子どもたちの心身の健康問題を研究協議して実践化を目指す組織とされ、毎年、開催されています。その立案や企画・準備、運営、校内外の連携、事後措置、評価などに、多大なエネルギーを要する現状もあります。そこで、皆さんはどのような学校保健委員会を開催されているのか、その実践と工夫を交流していきます。

ご参加の先生は、可能な範囲で自校の学校保健委員会資料を1部ご持参お願いします。また、学校保健委員会にかかる困難感や課題があればご準備の上、ご参加ください。 **お申し込みは不要です。直接、会場にお越しください。**

第4回実践交流会の報告

第4回のテーマは、「保健指導に活かす 保健だより」とし、平成27年8月29日（土）に開催しました。様々な保健指導の場面で使用する「保健だより」の作成と活用について参加者間で実践交流しました。当日は、保健だよりの機能について考える機会ともなり、作成の留意点や効果的な活用の工夫などについて交流が繰り広げられ、盛り上がった交流会となりました。

実践交流会の様子

- 【話題提供】**
- ① 紫波町立片寄小学校 小野美保先生 「保健指導に活かす 保健だより」
保健だよりは、養護教諭の教育実践の一つであるとして、その機能を8つに分類して紹介いただきました。機能を分類していただいたことにより自分が作成している保健だよりを見直す機会となりました。そして、先生が実践されている保健指導に活かすポイントもご紹介いただきました。
 - ② 本会から、特別支援学校と高等学校2校の「保健指導に活かす 保健だより」を紹介しました。

【実践交流とその内容】 参加者の皆さんは、校種別グループに分かれ、交流の柱に沿って展開していきました。下に校種別グループの交流内容を抜粋して紹介します。

小学校・特別支援学校グループから抜粋

- ・保護者と子どもは、どれ位保健だよりを読んでいるのだろうか。子どもに伝えたいことは保護者にも伝える必要があるので両者用に作成している。 ・指導のねらいは、担任から読んで指導してもらう。ポイントは朝会で連絡し、マーカーを引くなど一手間かける。 ・低学年にはルビをふる。子どもの活動写真も関心を引く。(個人に要配慮) ・視覚から関心を引く編集に留意し、テーマを絞る。 ・「ある日の保健室だより」や児童が作成すると読んでもらえる。 ・学校保健計画にとらわれて発行するとマンネリ化することもある。 ・保健だよりのテーマを児童からアンケートを取る。 ・学校評価に保健だよりの項目を入れている。(保護者が読んでいるかも含めて)
- ・校務分掌内で評価を受けるのも一つである。

中学校・高等学校グループから抜粋

- ・保健だよりは、特別活動などの保健指導を展開するテーマ・場面に応じたもの、毎月発行のもの、必要に応じて発行するものがあるが、ねらいが異なるので作成の仕方を工夫している。
- ・特別活動用は、事前事後の保健だよりも作成する。
- ・効果的な保健指導のためには、担任からの指導や生徒が読むようにSHRでの時間確保など、学年や担任との連携などが欠かせない。指導ポイントは朝会連絡し、マーカーを引いておく。
- ・配布物を教室や掲示板、保健室前などに併せて掲示する。
- ・生徒保健委員会が作成した保健だよりは、よく読まれる。
- ・学校3師に、FAXでその都度届けている。
- ・保健だよりの評価は、生徒、学年の先生などにアンケートやチェックリストで依頼をする。ズバリ書いてくれる。